

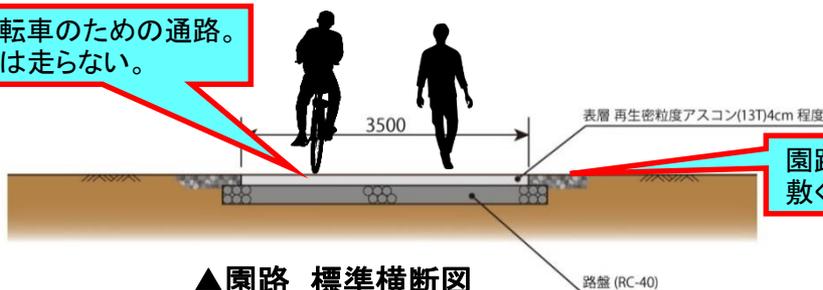
園路

- 舗装及びかわへのアクセス向上を図る園路整備
- 延長：約2,200m
- 通路幅：3.5m（自転車がすれ違って通行できる幅）
- 舗装形式：アスファルト舗装
- 園路まわりに草が繁茂しにくいように両端に砂利を敷く
- 車両進入防止のため、端部に車止めを設置する。

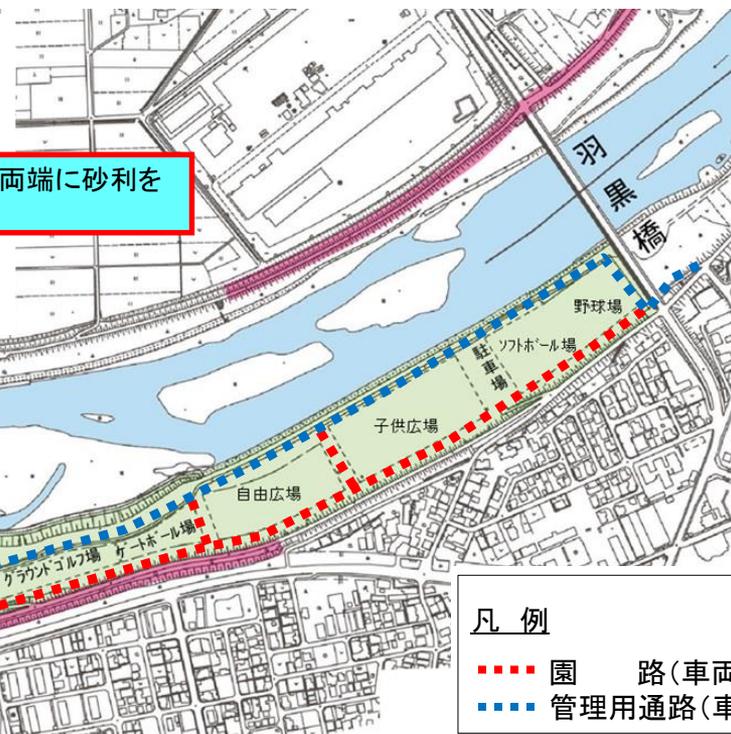


▲園路舗装イメージ

人や自転車のための通路。
自動車は走らない。



▲園路 標準横断面図



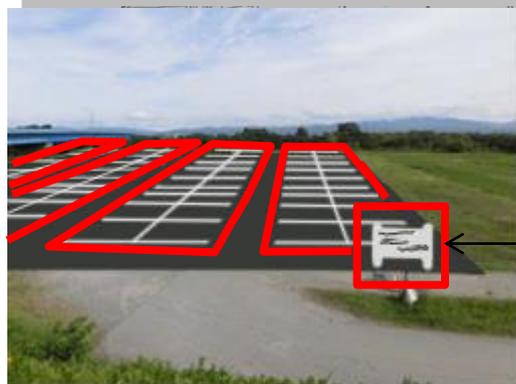
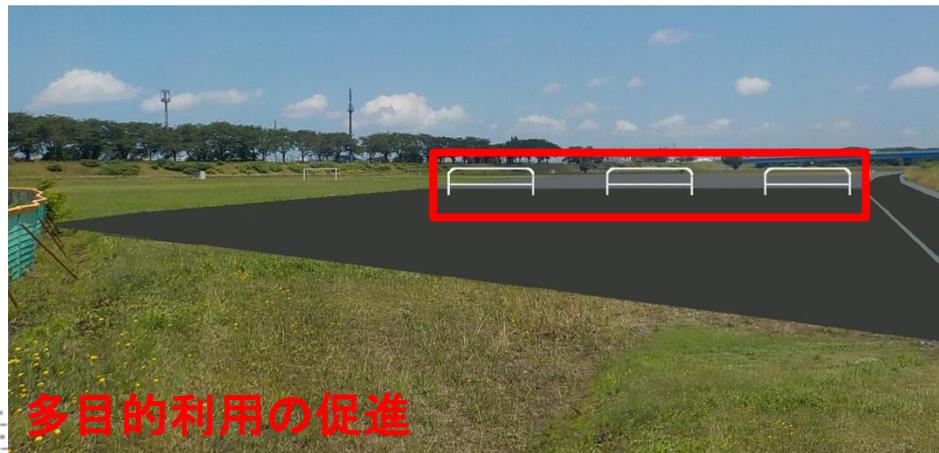
▲園路整備平面図

凡例

- 園路(車両通行不可)
- 管理用通路(車両通行可)

駐車場

- 箇所数: 3箇所
- 舗装形式: 駐車場①・③: アスファルト舗装
駐車場②: アスファルト舗装/砂利舗装
- 駐車場②のみ脱着式車止めで半分に区切り、上流側はアスファルト舗装、下流側は砂利舗装にする。繁忙時は「臨時駐車場」とする。



▲駐車場① イメージ図

凡例

- 駐車場 (アスファルト舗装)
- 駐車場 (砂利舗装)
- 駐車場 (既設: 砂利舗装)
- Ⓛ 利用案内看板
- ⋯ 管理用通路 (車両通行可)

広場

- 箇所数:2箇所
- 多目的な利用のできる芝生広場を設置
- 芝種:天然芝
- 天然芝:メリット 導入時安価
デメリット 定期的な管理(施肥等)が必要
- 人工芝:メリット 管理が簡単、耐久性に優れる
デメリット 導入時高価、火気の使用が限られる
- 安全対策として川岸へフェンス設置



▲多目的広場 イメージ図
(天然芝)



凡例

●●●●	園路(車両通行不可)
■■■■	管理用通路(車両通行可)

R2.2.19開催_第2回赤川かわまちづくり推進協議会資料_抜粋
※記載内容は変更となる場合があります。

看板

- 看板整備:16箇所
 - 内 誘導看板 3箇所
 - 利用案内看板 11箇所
 - 注意喚起看板 2箇所
- 各広場入口にも名称を付した案内板を設置



▲ジョギング・ウォーキングコース案内看板（イメージ）

【写真出典】鶴岡市赤川かわまちづくり説明資料



▲施設利用案内看板（イメージ）

【写真出典】糠野目地区水辺の楽校現地写真（最上川）

安全に遊ぶために

次のことに注意して、安全に川遊びを楽しもう。

- 1.川には絶対一人で来ない。できれば川に詳しい大人と一緒に来る。
- 2.天気予報をよくみて、前の日に雨が降ったか、その日の天気はどうかチェックしよう。
- 3.深いところや流れの速いところなど、危険なところは近づかない。
- 4.周りの人の注意には素直に従おう。

▲注意喚起看板文章例
【参考】酒田河川国道事務所ホームページ



▲施設誘導看板（イメージ）

【写真出典】鶴岡市赤川かわまちづくり説明資料

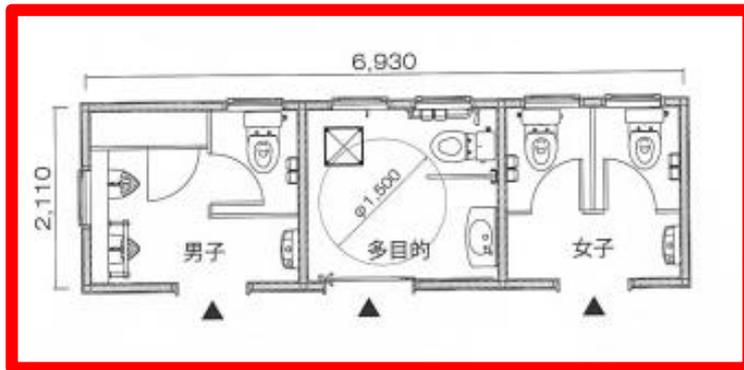


凡例

- ① 誘導看板
- ② 利用案内看板
- ③ 注意喚起看板
- 園路(車両通行不可)
- 管理用通路(車両通行可)

トイレ

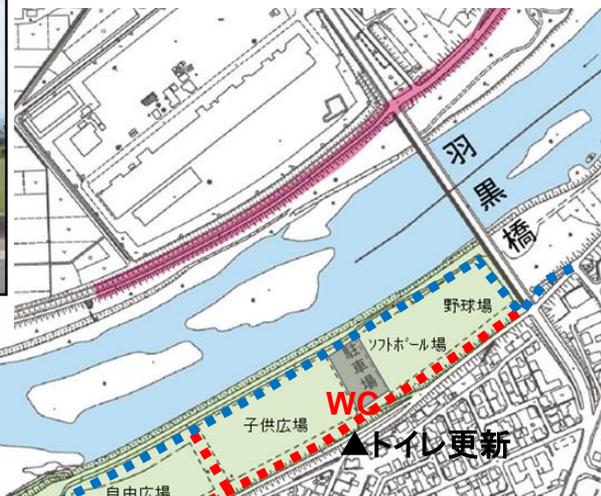
- トイレ整備:4箇所
- 規格等:男女別、多目的付を標準とする。
- 大規模なイベント時はその主催者側で別途設置
- 利用者の利便性を考慮し洋便器へ変更



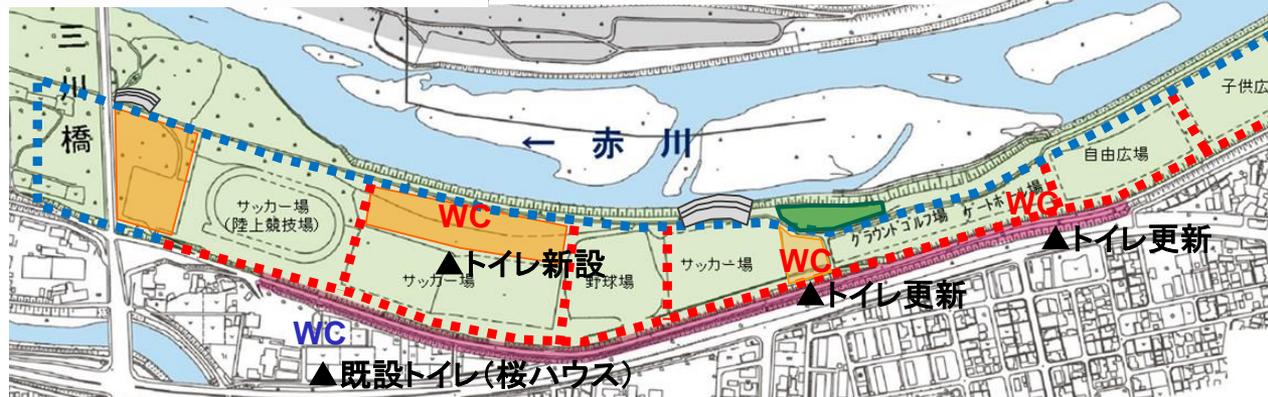
▲トイレ（イメージ）移動可能



▲トイレ（イメージ）移動可能



▲トイレ更新

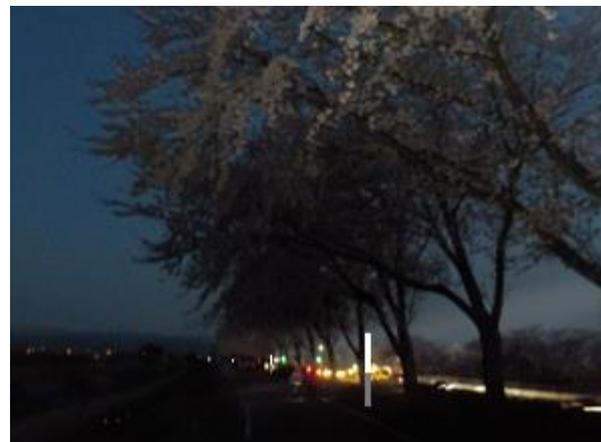


▲既設トイレ(桜ハウス)

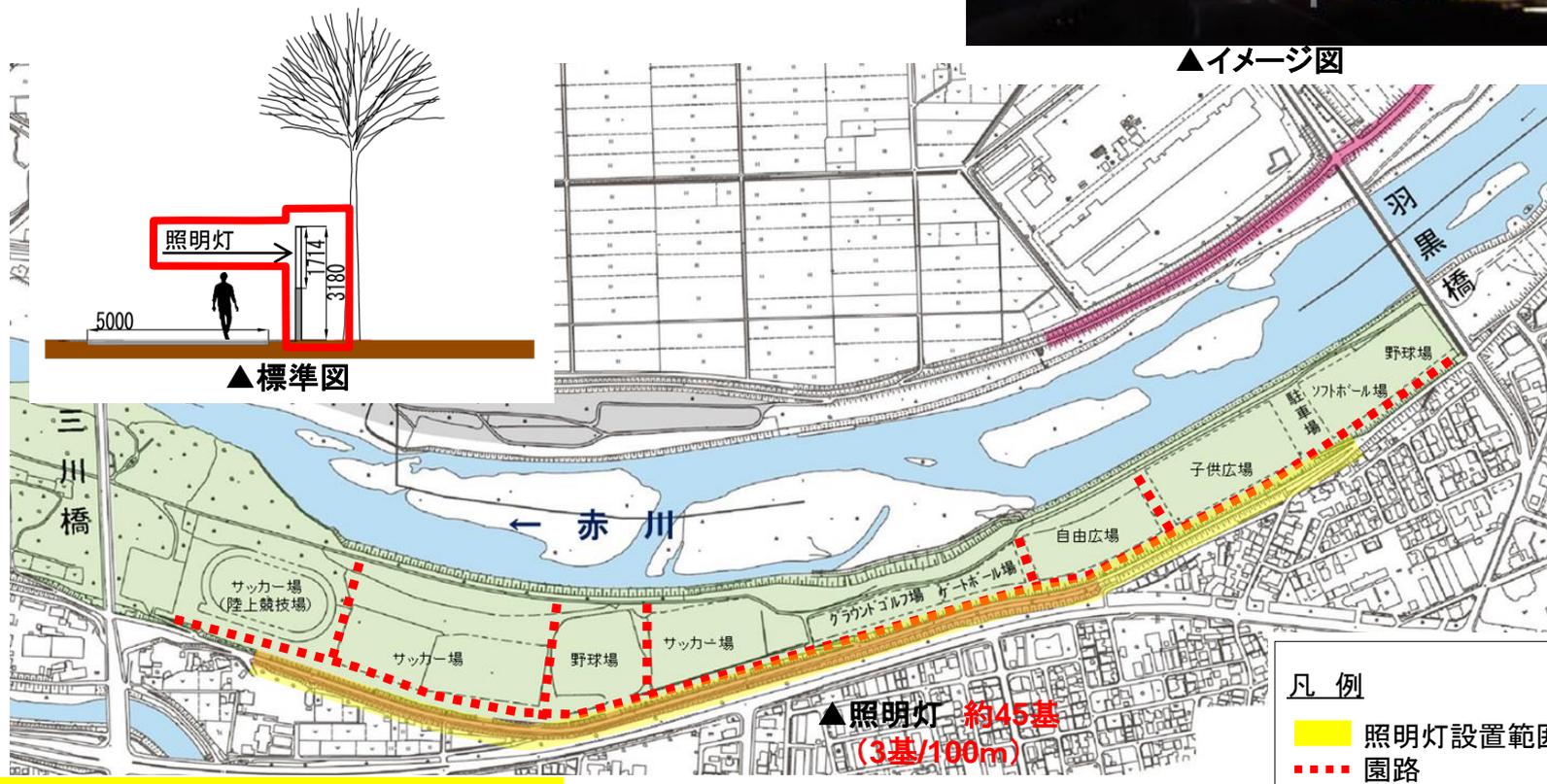
凡例	
WC	トイレ(新設・更新)
WC	トイレ(既設)
---	園路(車両通行不可)
---	管理用通路(車両通行可)
■	駐車場
■	多目的広場

照明灯

- 照明灯設置：約45基
- 配置計画：3基/100m
- 規格等：ソーラー式LED照明
タイマー又は自動点滅器による制御
- 桜の影響を受けないようポールタイプ仕様



▲イメージ図



各施設の整備内容（赤川河川緑地）

【水栓、四阿、ベンチ】

水栓、四阿、ベンチ

- 水栓:2箇所
- 四阿:2箇所
- ベンチ:5基

※四阿及びベンチについては、簡易テント及び椅子の貸出による代替案についても検討する



▲四阿（イメージ）



▲ベンチ（堤防天端）（イメージ）



▲水栓（イメージ）



▲テント設置イメージ①



▲テント設置イメージ②



▲椅子設置イメージ①



▲椅子設置イメージ②



凡例

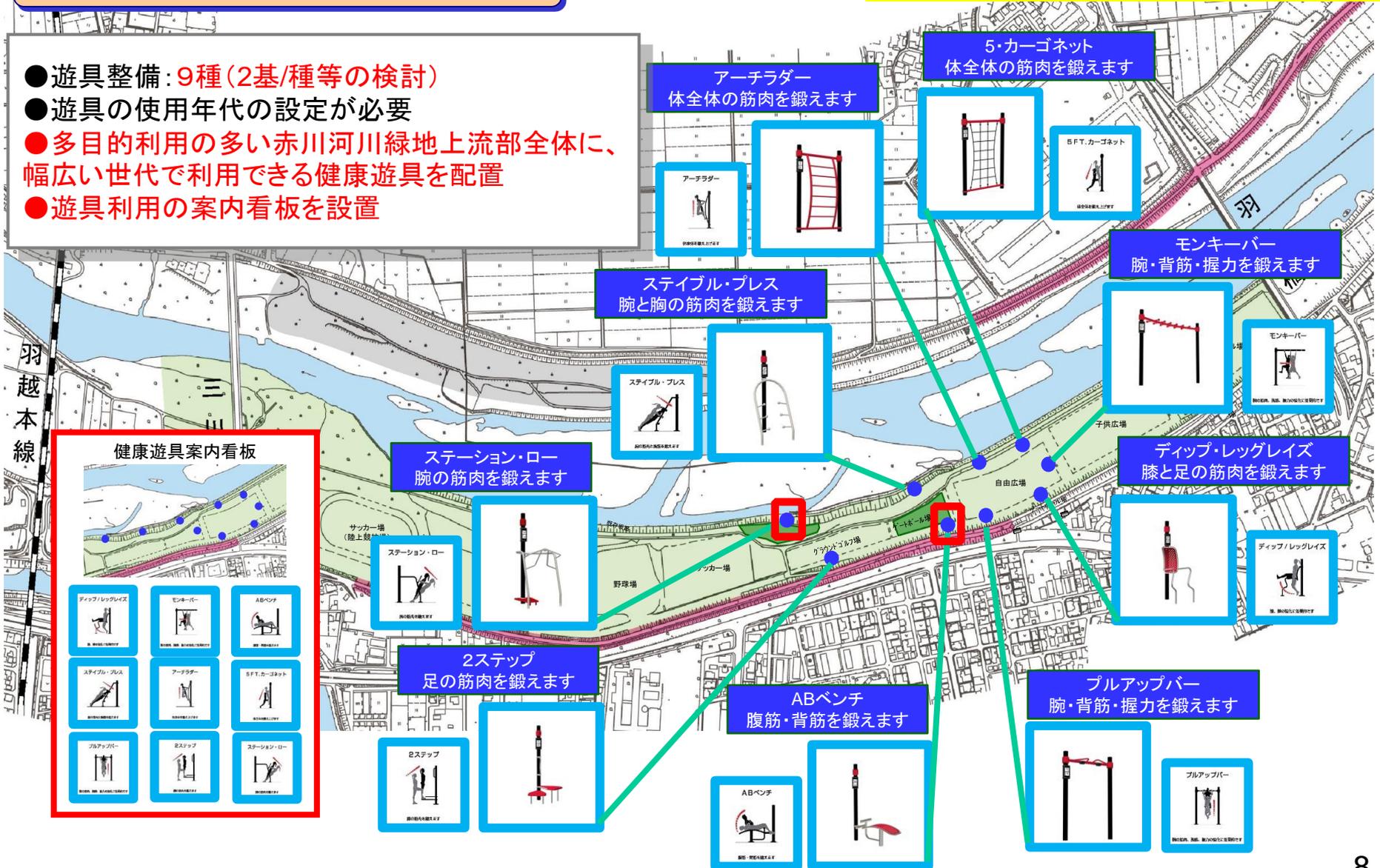
- ⊙水 : 水栓(2箇所)(新設・更新)
- ↑ : 四阿(2箇所)
- : ベンチ(5基)(新設)

R2.2.19開催_第2回赤川かわまちづくり推進協議会資料_抜粋
※記載内容は変更となる場合があります。

遊具

- 遊具整備：9種（2基/種等の検討）
- 遊具の使用年代の設定が必要
- 多目的利用の多い赤川河川緑地上流部全体に、幅広い世代で利用できる健康遊具を配置
- 遊具利用の案内看板を設置

R2.2.19開催_第2回赤川かわまちづくり推進協議会資料_抜粋
※記載内容は変更となる場合があります。



各施設の整備内容（赤川河川緑地）

【レンタサイクルポート】

- レンタサイクルポート: 計画区域 9箇所
赤川河川緑地、榑引総合運動公園、鶴岡公園
松ヶ岡開墾場、黒川能の里、丸岡城跡史跡公園
産直あぐり、鶴岡駅前、庄内観光物産館
- 主要な観光地へも配置
- 使用年代に応じた自転車の配置
- 子供用も貸出
- 貸し出し方法が重要
→ 管理人の配置 OR 電子決済によるレンタル
- 移動距離の設定



▲ レンタサイクル (イメージ)

R2.2.19開催_第2回赤川かわまちづくり推進協議会資料_抜粋
※記載内容は変更となる場合があります。

各施設の整備内容（赤川河川緑地）

【河畔整備】

河畔整備

- 範囲：約95,500㎡
- 繁茂している樹木の伐採により、かわの見える景観形成を図る
- 伐採は、生息・生育環境に配慮しながら実施（樹木の間引きを基本）
- 伐採木を使った工作教室等のイベントを検討



河畔整備（繁茂状況）



河畔整備後イメージ
（かわの見える景観）

【赤川の代表的な魚類】
アユ、ウグイ、サクラマス、サケ



■サクラマス



■アオサギ

【カモ類の集団越冬地】
（主な出現種）
マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、カワアイサ

【主な植生】
オオバクサ群落

【主な植生】
ハリエンジュ群落

【主な植生】
人工草地

【主な植生】
ハリエンジュ群落

▼河畔整備対象範囲
（95,500㎡）

【サギ類の集団休息地】
（主な出現種）
アオサギ、コサギ、ダイサギ

【主な植生】
オニグルミ群落
オギ群落

【確認された動物】
（両性類）ニホンアマガエル
（爬虫類）シマヘビ
（哺乳類）ヒミズ、アズマモグラ、ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ

▲赤川河川緑地周辺で
確認された動植物

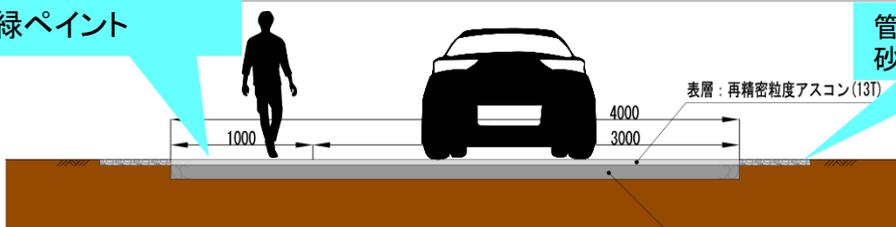
R2.2.19開催 第2回赤川かわまちづくり推進協議会資料_抜粋
※記載内容は変更となる場合があります。

管理用通路

- 延長：約2,800m
- 通路幅：4.0m（現況幅員を確保し、必要に応じて待避所を設置）
- 舗装形式：アスファルト舗装
- 歩行者優先の表示（緑ペイント）を設置（幅1.0m）
- 管理用通路まわりに草が繁茂しにくいように両端に砂利を敷く



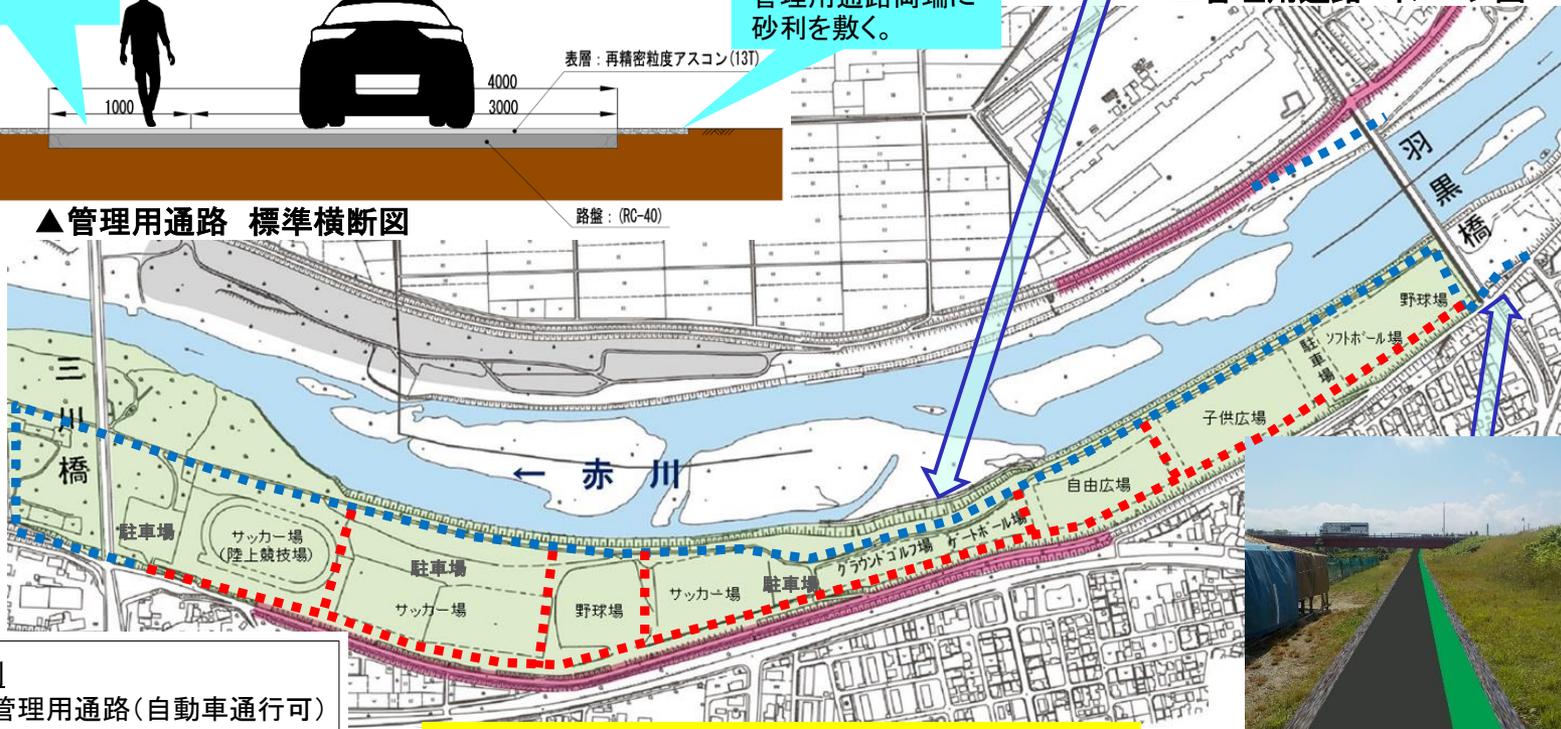
緑ペイント



▲管理用通路 標準横断面図

管理用通路両端に砂利を敷く。

▲管理用通路 イメージ図



凡例

- 管理用通路（自動車通行可）
- 園路（自動車通行不可）



▲管理用通路 イメージ図

R2.2.19開催_第2回赤川かわまちづくり推進協議会資料_抜粋
※記載内容は変更となる場合があります。

親水護岸

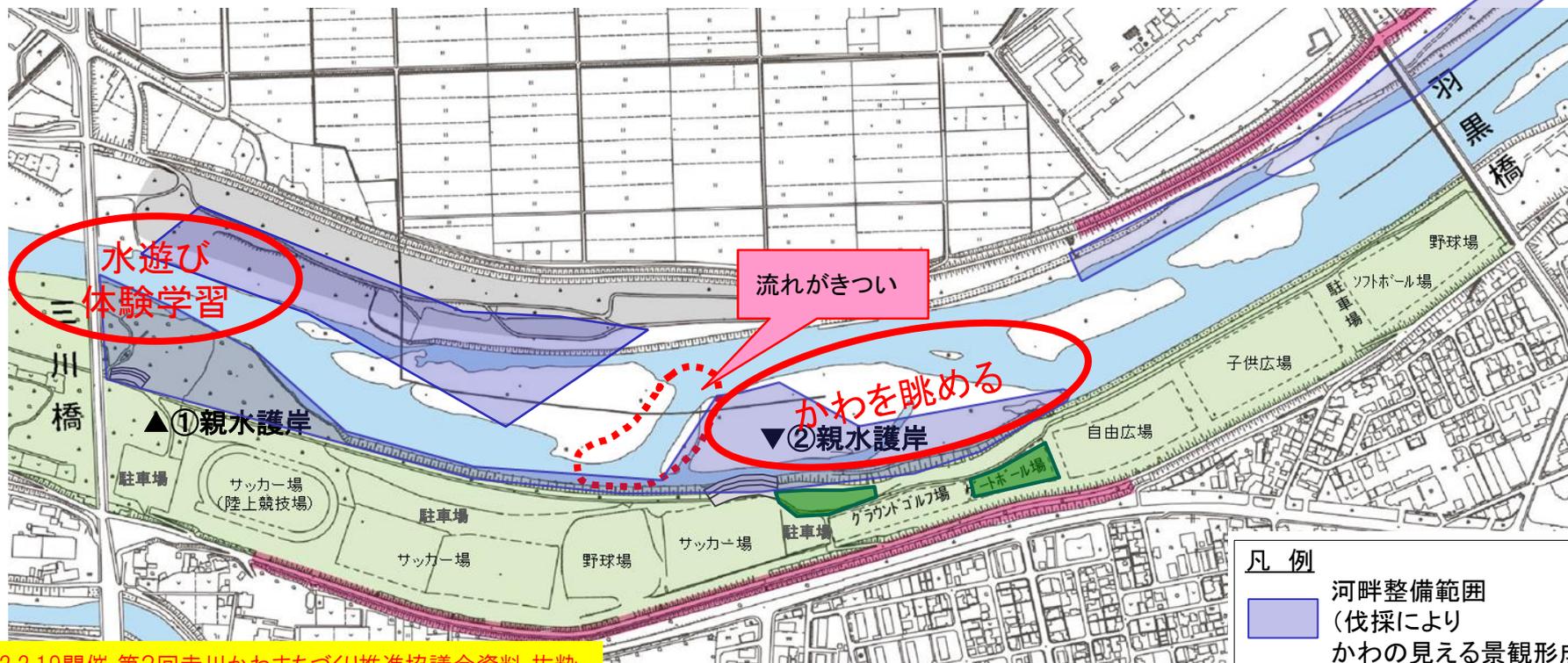
- 親水護岸整備：2箇所
- 護岸幅：①30m ②100m
- 護岸素材：階段コンクリートブロック
かわへ安全に近づける構造とする
- 動植物の生育生息環境など、体験学習の場として活用



▲①親水護岸 イメージ図



▲②親水護岸 イメージ図



階段工

- 階段工：8箇所
新設＝2箇所 拡幅＝6箇所
- 階段幅：50m
- スポーツ観戦等ができるよう、各グラウンドに配置
- 階段の一部分の段差を緩やかにし、手摺りの設置を検討する。

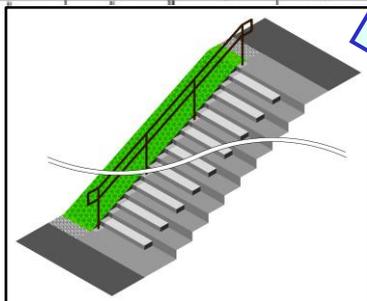
〈施工前〉



〈施工後〉

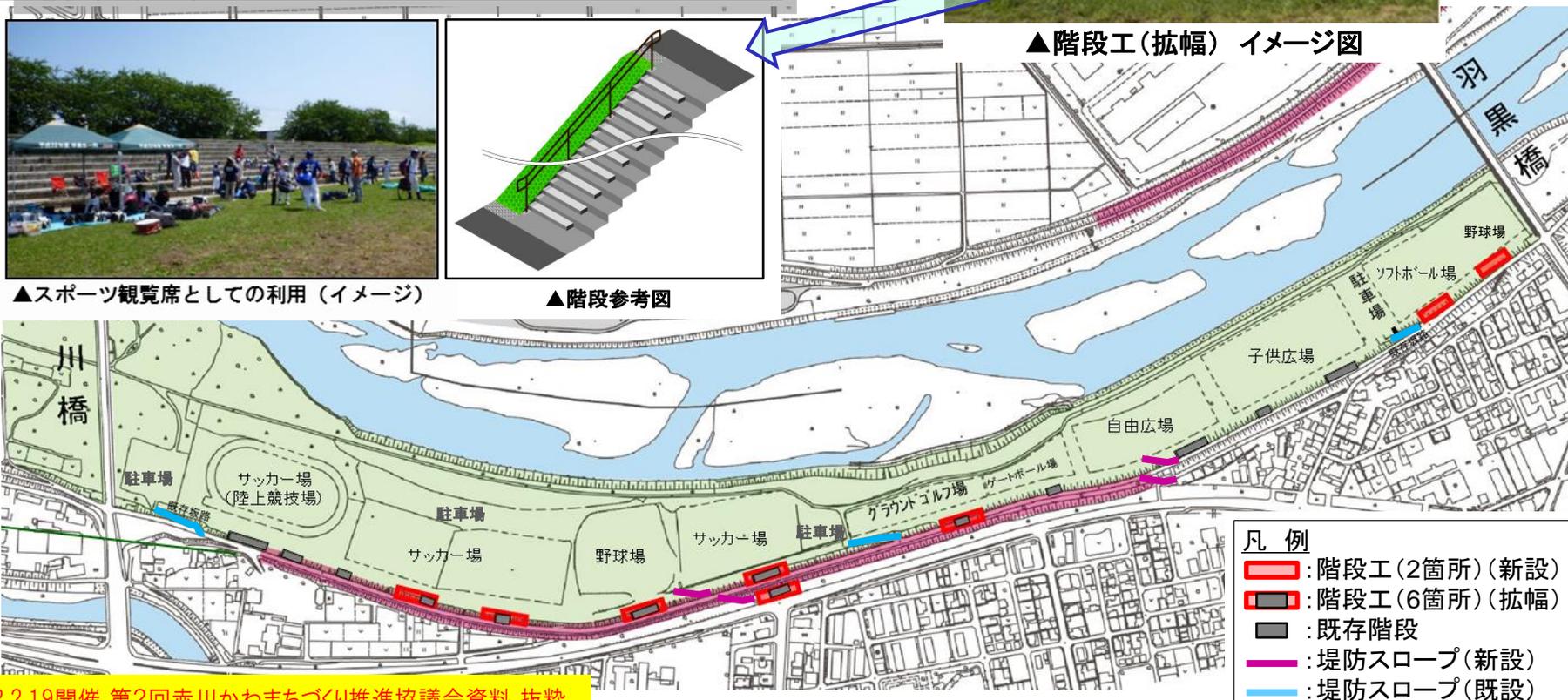


▲スポーツ観覧席としての利用（イメージ）



▲階段参考図

▲階段工（拡幅）イメージ図



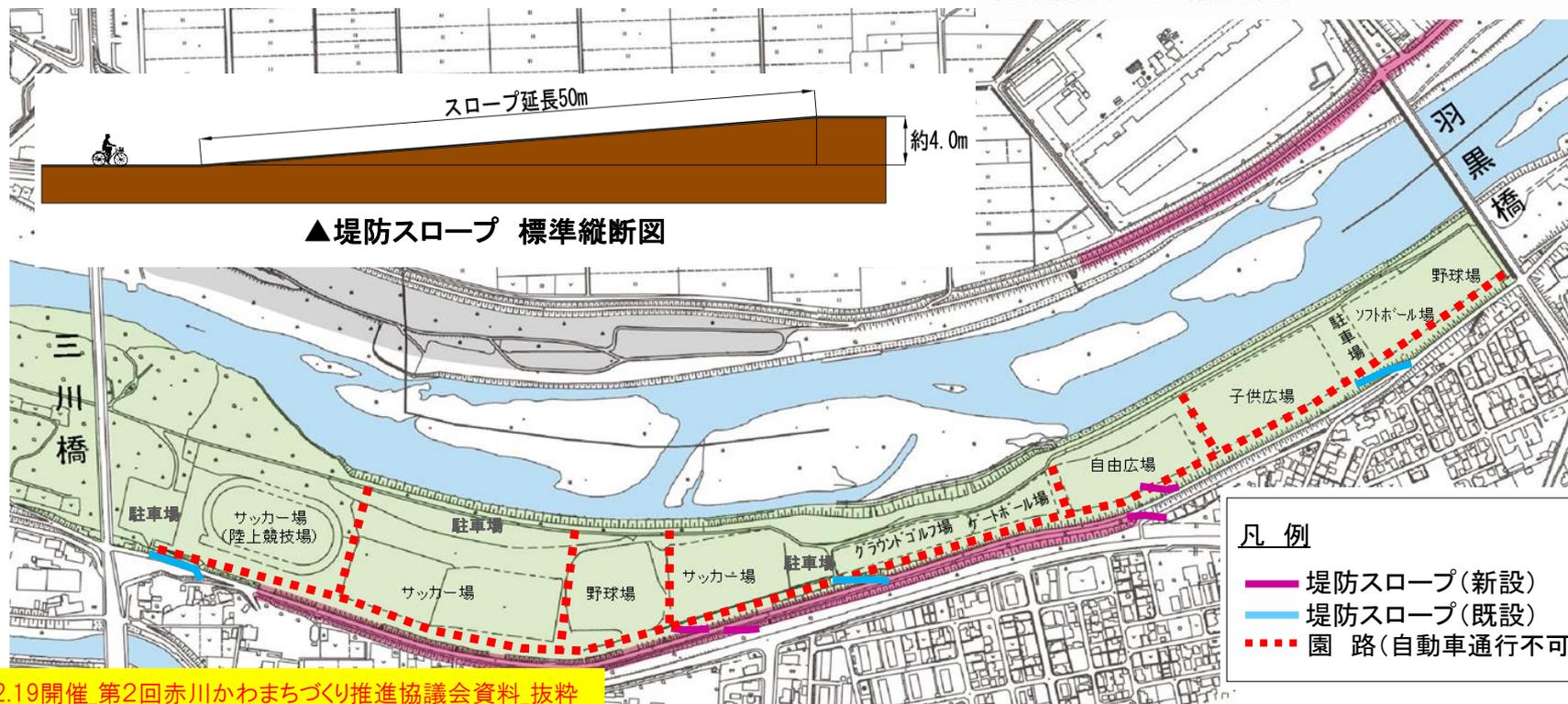
- 凡例
- 階段工（2箇所）（新設）
 - 階段工（6箇所）（拡幅）
 - 既存階段
 - 堤防スロープ（新設）
 - 堤防スロープ（既設）

堤防スロープ

- 堤防スロープ：4箇所
- 通路幅：4.0m
- 舗装形式：アスファルト舗装
- 自転車や電動カート等による河川敷と堤防天端の往来



▲電動カートでの利用



進入路拡幅

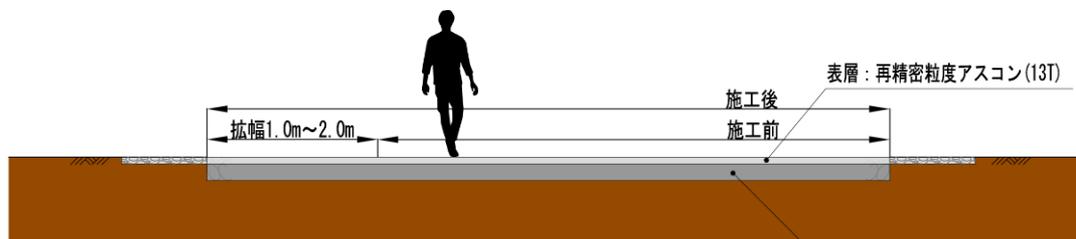
- 進入路拡幅：2箇所
- 拡幅：1.0m~2.0m
- 舗装形式：アスファルト舗装
- 赤川河川緑地への安全性とアクセスの向上



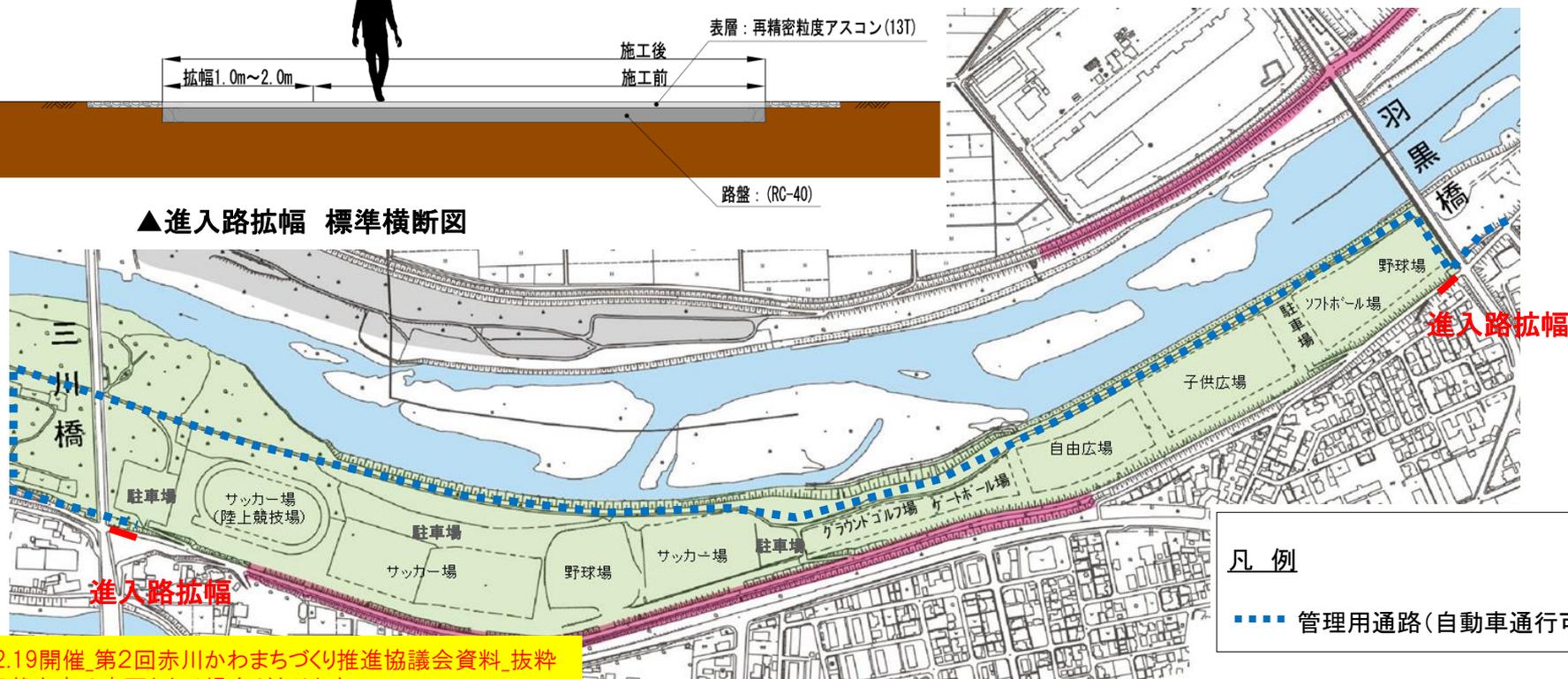
▲ 進入路拡幅(三川橋側)
イメージ図



▲ 進入路拡幅(羽黒橋側)
イメージ図



▲ 進入路拡幅 標準横断面図



凡例

- 管理用通路(自動車通行可)

各施設の整備内容（赤川河川緑地）

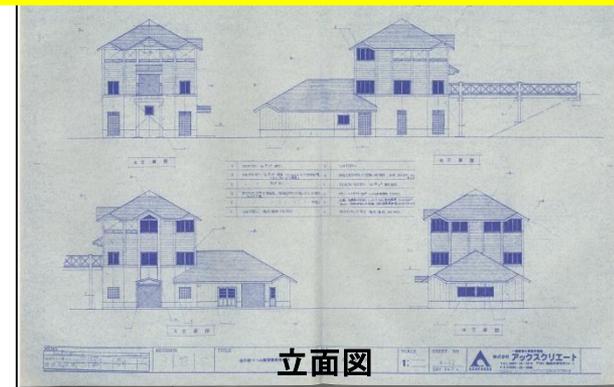
【桜ハウス】

桜ハウス(利活用)

- 建設 平成6年
- 場所 鶴岡市切添町4-35 地内
- 構造 木造一部鉄筋コンクリート造
3階建て
- 延床面積 258.80㎡
- 階別面積 1階 146.75㎡ トイレ、水飲場、足洗い場
用具置場、水防倉庫
- 2階 73.00㎡ 更衣室 2、シャワー室6
- 3階 39.05㎡ 展望バルコニー、会議室
- 木橋 L=12.5m W=2.2m



R2.2.19開催_第2回赤川かわまちづくり推進協議会資料_抜粋
※記載内容は変更となる場合があります。



▲階段



▲洗い場



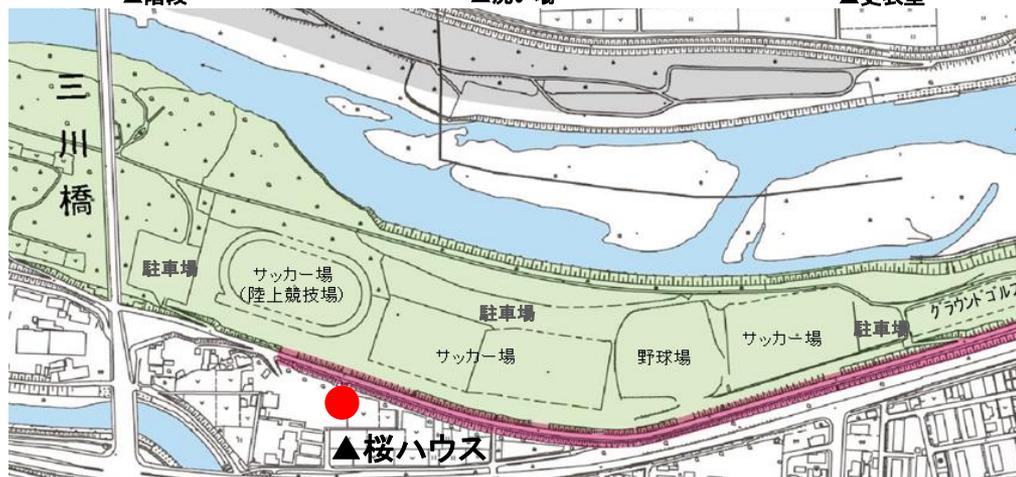
▲更衣室



▲シャワー室



▲シャワー室(個室)



《利活用のアイデア》

- 展示場(魚、川の施設紹介や歴史、写真展など)
※幼児や小学生も対象とした学習施設と大人の交流拠点
 - 赤川河川緑地の管理棟(管理人を常駐)
 - カフェや物販施設
 - 遊び方のルールや赤川治水の歴史等を掲示する。
- #### 《安全対策》
- 管理人の常駐又は防犯カメラ設置の検討

親水エリア(利活用)

R2.2.19開催_第2回赤川かわまちづくり推進協議会資料_抜粋
※記載内容は変更となる場合があります。



▲水遊び（イメージ）



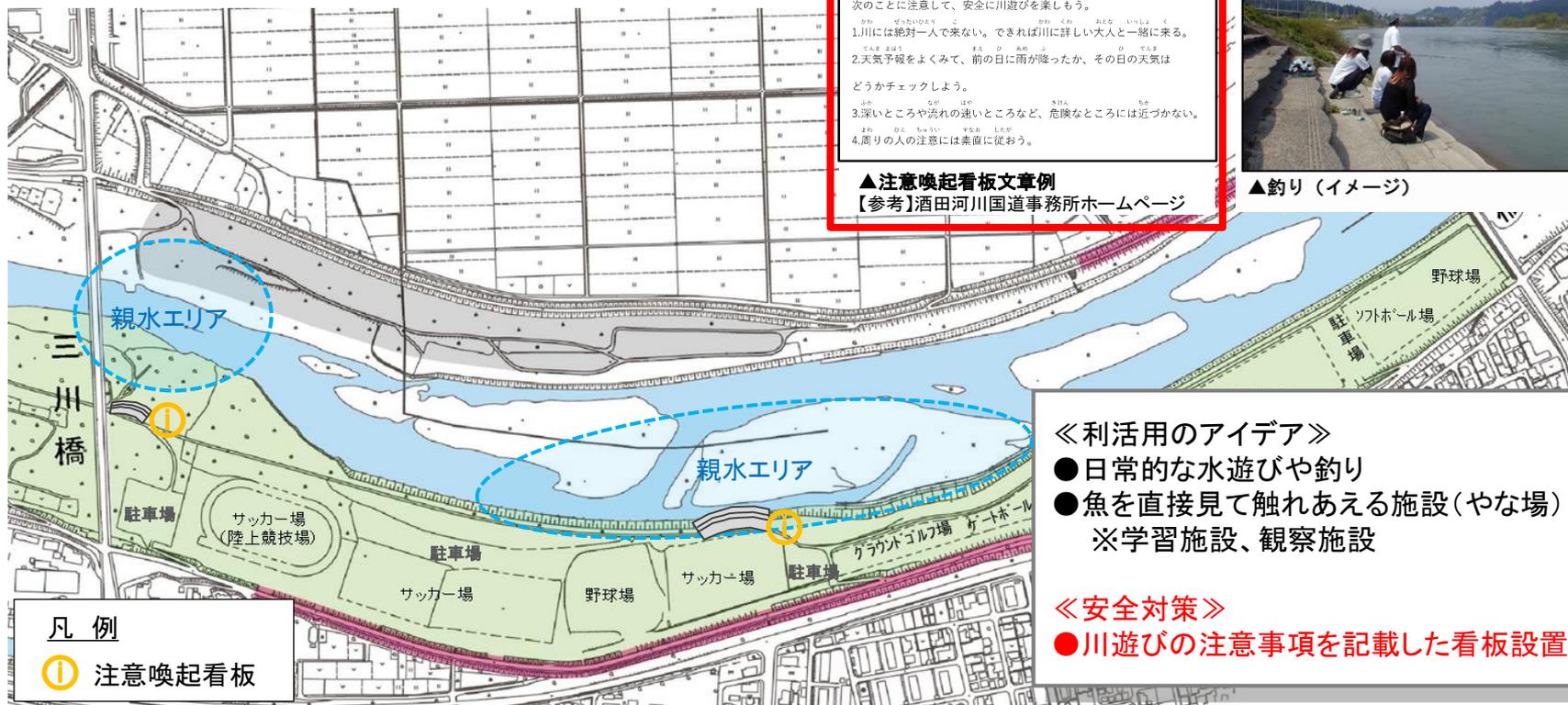
▲水生生物調査（イメージ）



▲魚のつかみとり大会（イメージ）



▲鮭のやな場（H23年頃）



安全に遊ぶために
 次のことに注意して、安全に川遊びを楽しもう。
 1.川には絶対一人で来ない。できれば川に詳しい大人と一緒に来る。
 2.天気予報をよくみて、前の日に雨が降ったか、その日の天気はどうかチェックしよう。
 3.深いところや流れの速いところなど、危険なところは近づかない。
 4.周りの人の注意には素直に従おう。

▲注意喚起看板文章例
 【参考】酒田河川国道事務所ホームページ



▲釣り（イメージ）

凡例
 ① 注意喚起看板

《利活用のアイデア》
 ● 日常的な水遊びや釣り
 ● 魚を直接見て触れあえる施設（やな場）
 ※学習施設、観察施設

《安全対策》
 ● 川遊びの注意事項を記載した看板設置を検討